

## 田中ひさとの守山市議会定例会での一般質問より

### 上水道事業の配水管更新への取り組みについて

**Q** 全国的に配水管の老朽化による事故などが増えているようですが、守山市での配水管の耐震化や老朽管の更新工事の進捗状況を伺います。また、更新工事において、必要な総事業費はどれくらいの見込みですか。



**A** 配水管の耐震化や老朽管の更新については、「管路施設耐震化改良計画」に基づき、重要度・優先度を総合的に判断する中、漏水事故等の影響が大きい基幹管路の耐震化率は46,3%であり、基幹管路の更新にかかる総事業費は今後25年間で約45億円を見込んでおり順次計画的に進めていきます。

### ほたるの森資料館の充実と活用について

**Q** ほたるの森資料館は開館から30年以上が経過し、経年劣化による損傷がみられ、資料館裏手の木道には危険性のある箇所も見受けられます。ふるさと納税の寄付金を活用して資料館の修繕や、より充実した施設とすることはできないのでしょうか。また子どもたちがホタルを通した環境学習の機会を増やせないでしょうか。



**A** 当面の課題、特に安全面に関わるような課題については、ふるさと納税の寄付金を活用し、改善に向けて取り組みます。環境学習の機会という点で、自由研究などの発表会において蛍や地域の自然についての研究に特別賞を設けることを検討されており、ホタルに興味を持ち学びたいと思う子どもたちの発展的な学習のきっかけになると思います。

